

## 2. 地区の災害特性及び防災対策の方向性の補足（谷津南小学校区）

### 1) 地区内の人口状況：平成 25 年との比較

◆市総人口：161,047 人/H25 年 ⇒ 175,065 人/R5 年 【14,018 人増】

|           | H25 年 3 月 |       | R5 年 3 月 |             |         | 備考   |  |
|-----------|-----------|-------|----------|-------------|---------|--|--|
| 地区全体      | 8,828 人   | ⇒     | 11,997 人 | ★3,169 人の増加 |         |  |  |
| 0 歳～ 9 歳  | 1,043 人   | 11.8% | 1,905 人  | 15.9%       | 1,367 人 | ●全体としての人口は大きく増加<br>●65 歳以上の人口数対生産年齢人口数比<br>★1 人対 2.7 人 |  |
| 10 歳～14 歳 |           |       |          |             | 538 人   |  |  |
| 15 歳～19 歳 | 6,023 人   | 68.2% | 7,377 人  | 61.5%       | 464 人   |  |  |
| 20 歳～29 歳 |           |       |          |             | 907 人   |  |  |
| 30 歳～59 歳 |           |       |          |             | 5,310 人 |  |  |
| 60 歳～64 歳 | 1,762 人   | 20.0% | 2,715 人  | 22.6%       | 696 人   |  |  |
| 65 歳～69 歳 |           |       |          |             | 674 人   |  |  |
| 70 歳～79 歳 |           |       |          |             | 1,257 人 |  |  |
| 80 歳以上    |           |       |          |             | 784 人   |  |  |

### 2) 丁目ごとの標高

#### ◆谷津

| 丁目   | 最高   | 場 所          | 最低   | 場 所                | 高低差  |
|------|------|--------------|------|--------------------|------|
| 3 丁目 | 3.5m | 1 番谷津公園花木の広場 | 1.3m | 13 番 8 号幹線谷津マンション南 | 2.2m |

#### ◆奏の杜

| 丁目   | 最高    | 場 所           | 最低   | 場 所            | 高低差  |
|------|-------|---------------|------|----------------|------|
| 1 丁目 | 16.7m | 3 番 21 号付近の道路 | 9.3m | 14 番 16 号付近の道路 | 7.4m |
| 2 丁目 | 15.7m | 12 番谷津奏の杜公園   | 9.1m | 2 番 4 号付近の道路   | 6.6m |

※国土地理院地図データから職員が手作業により、検索しているため、多少のズレ有

### 3) 丁目ごとの災害特性：全壊・半壊棟数＝千葉県北西部直下地震想定時

| 丁 目      | 揺れ   |      | 液状化 | 河川氾濫  | 内水氾濫  | 高潮    | 土砂災害 |
|----------|------|------|-----|-------|-------|-------|------|
|          | 全壊   | 半壊   | 全半壊 | 氾濫水   | 氾濫水   | 浸水    |      |
| 谷津 3 丁目  | 27 棟 | 74 棟 | 2 棟 | 487 棟 | 411 棟 | 644 棟 | 0 棟  |
| 奏の杜 1 丁目 | 1 棟  | 2 棟  | 0 棟 | なし    | 5 棟   | なし    | なし   |
| 奏の杜 2 丁目 | 1 棟  | 3 棟  | 0 棟 | なし    | 0 棟   | なし    | なし   |

#### 4) 住民の視点から見た地区の災害特性：H25年ワークショップ

| 連番 | 区分     | 意見等内容   |
|----|--------|---|
| 1  | 防災体制   | ◆分譲の集合住宅には自治会・自主防災会といった組織があるが、谷津パークタウンや賃貸の集合住宅には設置されていない。     |
| 2  | 液状化    | ◆液状化によりライフライン損壊、電柱倒壊による停電及びそれに伴う情報等の断絶、水道管破損による断水、家屋傾斜等が発生する。 |
| 3  | 高潮災害   | ◆谷津南地区は谷津干潟をかかえるため、高潮の危険性も考える必要がある                            |
| 4  | 内水はん濫  | ◆京葉道路沿いでは、大雨時の冠水が懸念される。                                       |
| 5  | ライフライン | ◆谷津パークタウン等の集合住宅では、ライフラインの停止の影響により、上の階まで水道水がこないことが予想される。       |

#### 5) 住民の視点から見た防災対策の方向性：H25年ワークショップ

| 連番 | 区分        | 意見等内容  |
|----|-----------|--|
| 1  | 避難所・避難場所  | ◆避難する施設・場所として、電気の使用や情報の入手ができ、多くの住民が集まれる場所の確保を検討する。<br>◆避難所を谷津南小学校とした場合、体育館の鍵の管理体制や、施設をすぐに利用できるような体制の整備等が必要である。                     |
| 2  | 防災マニュアル   | ◆休日・夜間など学校関係者不在時における対応のために、役割やルール、指揮（優先順位）を定めたマニュアルの作成が必要である。  |
| 3  | 防災教育・防災広報 | ◆分譲住宅と賃貸住宅では防災意識に違いがある。また防災対策を行うにあたっては、UR都市機構等への働きかけが必要である。<br>◆地区別防災カルテを各地区に配布し、アンケート等で自治会及び集合住宅等に特有の事項について意見集約を図り、より有意義なものに更新する。 |